

(プレスリリース)

各位

2018年10月10日
Space Apps JAPAN
Space Apps Challenge 東京事務局

NASA Space Apps Challenge 2018 日本国内6都市で開催

宇宙関係のオープンデータを活用するハッカソン「NASA Space Apps Challenge 2018」が、2018年10月20日(土)~21日(日)の2日間、世界100以上の都市で同時開催されます。

NASA Space Apps Challenge (以下、Space Apps)は宇宙関係のオープンデータの活用を目指し、NASA(アメリカ航空宇宙局)の呼びかけにより始まったハッカソンで、2012年から毎年1回開催されています。今年は10月20,21日の2日間、世界約100以上の都市で同時開催し、日本国内では会津、東京、豊橋、大阪、神戸、宇部の6都市で開催します。

これまで日本で行われたSpace Appsでは、地球のさまざまな姿を表示できる球体ディスプレイ「Personal Cosmos」、地球に降り注ぐ宇宙線をスマートグラスにARで可視化する「Apollon's Eye」、高エネルギー天体物理現象をプッシュ通知する「のーくり」など独創的な作品が生みだされてきました。

7回目となる今年は、「Earth and Space」のテーマのもと、NASAから次の6つのチャレンジカテゴリーが示されています。(日本語訳 SpaceApps Japan)

1. CAN YOU BUILD A... : これつくれますか...

人々は地球上の人生を支え、宇宙を探検するために物を作ります。NASAのデータを使って問題を創造的に解決する、建物からロボットヘルパー、市民科学のツールまで、さまざまなものをどのように作り出すか示すことを求めます。

2. HELP OTHERS DISCOVER THE EARTH : 地球を発見する手助けをしよう

科学分野を理解することは、地球上に住むことの中心です。NASAのデータを使って、人々が地球の仕組みを発見するのに役立つものを作ることを求めます。

3. VOLCANOES, ICEBERGS, AND ASTEROIDS (OH MY) : 火山、氷山、そして小惑星(なんと!)

私たちの惑星と太陽系には、驚きで満ちています。このような驚きのイベントの予測、監視、復旧のために、NASAのデータを分析することを求めます。

4. WHAT THE WORLD NEEDS NOW IS... : 世界に今必要なものは...

地球人には、食糧、水、清浄な空気、避難所など、多くのものがが必要です。世界の生命の重要な側面に影響を及ぼす問題に取り組み、解決策を見つけることを求めます。

5. AN ICY GLARE : 氷のきらめき

緑色、青色、灰色、白色: 寒い地球の極域や山岳地帯では多くのものごとが起こっています。地球の氷圏をよりよく理解し、監視し、解釈することを求めます。

6. A UNIVERSE OF BEAUTY AND WONDER : 美しく不可思議な宇宙

宇宙は素晴らしいものでいっぱいです。科学的、技術的、芸術的に、宇宙科学と探査について真剣に、そして想像的に考えることを願います!

各会場では10月20日,21日に向けて参加者とそれぞれのテーマにおける具体的な課題を募ります。参加者は2日間かけて課題解決のための作品づくりを行います。

優秀作品は Global Competition に進出し、プロモーションビデオによるプレゼンテーションにより世界各会場で優秀作品と創作力を競うことができます。

日本国内の6会場は「Space Apps JAPAN」と称して有志連携し、NASA Space Apps Challenge 2018 の開催を通じて、日本における宇宙オープンデータの活用や、ものづくりの活性化を推進していきます。

【本リリースについてのお問い合わせ】

Space Apps Challenge 東京事務局

事務局長 松留、プレスリリース担当 中山、大日向

メール: spaceappstokyo@gmail.com

Webサイト: <http://tokyo.spaceappschallenge.org/>

NASA Space Apps Challenge 2018 日本国内開催概要

開催日	2018年10月20日(土)～21日(日) (開催地ごとに事前のアイデア発掘イベントを開催する場合あり)
開催地(予定)	会津、東京、豊橋、大阪、神戸、宇部
参加対象	中学生以上の宇宙のオープンデータを使ったソリューションやアプリ・グッズ開発、社会問題の解決に興味のある方。職種は問いません。プログラマーや技術者、研究者を始め、クリエイターや様々な業種のビジネスパーソン、学生など、広い世代・職種の方々が対象です。
参加方法	参加にあたっては次の2つの手続きが必要です。 <ul style="list-style-type: none">● connpassの参加登録ページで参加登録● グローバルサイトに参加登録 また、チーム編成後ハッカソン終了までにグローバルサイトでチーム登録をする必要があります。
参加条件	本イベントで作成した作品(文章、図表、CADデータ、プログラム、イラスト等)はオープンライセンスで公開しなければなりません。

国内各会場個別情報および各オーガナイザーからのメッセージ

会津

会場	福島県会津若松市一箕町 会津大学研究棟3階M11/M12教室
参加人数	40名
主催	会津大学先端情報科学研究センターARC-SpaceおよびOpenAppLab
イベントページ	https://www.facebook.com/events/478751112607342/
参加方法	https://connpass.com/event/104612/

【会津オーガナイザーからのメッセージ】

会津大学発の宇宙ソフトを世に出そう！(<https://www.facebook.com/SpaceSoftUoA/>)という活動をしているARC-Spaceと、OpenAppLab(<https://www.facebook.com/OpenAppLab/>)の有志が共催し、会津大学発ベンチャーのデザニウム(<http://www.thedesignium.com>)のスポンサーで行われます。会津IT秋フォーラム(<http://www.ubic-u-aizu.jp/it-forum/>)が前日に開かれますので、観光がてら足を伸ばしていただくと、豊かな自然や温泉に加えてICT最新動向も一緒に楽しめます。ぜひおいでください。

東京

会場	LODGE Yahoo! JAPAN 東京都千代田区紀尾井町1-3 17F https://lodge.yahoo.co.jp/
参加人数	70人
主催	Space Apps Challenge 東京事務局
イベントページ	https://spaceappsjapan.connpass.com/event/104097/
参加方法	チームまたは、個人で上記Connpassからお申し込みください

【東京オーガナイザからのメッセージ】

東京会場ではLODGEのご協力により、3Dプリンターやレーザーカッターなどを利用いただけますので、ソフトウェアに限らずハードウェアのプロダクトにチャレンジしていただくことも可能です。センサー類やArduinoの貸出しも予定しております。

豊橋

会場	Trial Village 愛知県豊橋市広小路一丁目18 植ウエルプラザユメックス5階 https://trialvillage.net/access/
参加人数	30名
主催	株式会社サイエンス・クリエイト http://www.tsc.co.jp/
イベントページ	https://www.facebook.com/SpaceAppsToyohashi/
参加方法	https://connpass.com/event/100179/

【豊橋オーガナイザからのメッセージ】

東海5県で初開催となる豊橋会場ではマイクロソフトの千代田まどか氏(ちょまど)をアジテーターとしてお招きするほか、名古屋大学・中部大学より衛星データに詳しい先生方にアドバイザーとしてお越し頂く予定です。

大阪

会場	さくらインターネット株式会社大阪本社(グランフロント大阪A棟35階) https://www.sakura.ad.jp/corporate/corp/office.html 最寄り駅:JR大阪駅、西梅田駅、各線梅田駅
参加人数	Space Apps Osaka事務局
主催	50人
イベントページ	https://spaceappsjapan.connpass.com/event/101901/
参加方法	個人単位 上記Connpassよりお申し込みください

【大阪オーガナイザからメッセージ】

2017年に関西初上陸して2年目です。文系の女性がオーガナイザーです。NASAの「多様性重視」の主旨に賛同し、特に女性・学生・ハッカソン初参加のかたを歓迎します。今年もキッズコーナー(not託児ルーム)を設けますので、親子連れでのご見学もぜひどうぞ。

神戸

会場	三宮サンパル6F 起業プラザひょうご セミナールーム http://www.kigyoplaza-hyogo.jp/
参加人数	最大50名
主催	Code for Kobe
イベントページ	https://www.facebook.com/events/315461812352156/
参加方法	https://spaceappsjapan.connpass.com/event/103009/

【神戸オーガナイザからメッセージ】

神戸会場は”ITで神戸をもっと素敵にするため活動するコミュニティ”Code for Kobeが主催します。大阪会場からお誘いいただき、初開催に至りました。審査員は用意せず、全員が参加しお互いに審査し合う形式をとります。なにぶん新参加者ですから、目的は「開催すること」とし、目標は「最低1件NASAへのオンライン審査を提出すること」とします。小規模での開催になると見込まれますので、チーム数が少なくなり、次の審査に進ませることを前提に全員が一丸となって逆算して開発に当たっていくことになると思います。一人一人が活躍する絶好のチャンスです。そしてランチとディナーは美味しい神戸の街へ繰り出しましょう！

宇部

会場	宇部市勤労青少年会館 http://www.city.ube.yamaguchi.jp/koukyouannai/bunkakyouiku/kinrouseishounen.html
参加人数	最大30名
主催	Space Apps 宇部事務局
イベントページ	https://www.facebook.com/SpaceAppsChallengeUbe/
参加方法	https://spaceappsjapan.connpass.com/event/101063/

【宇部オーガナイザからのメッセージ】

宇部市勤労青少年会館にはプラネタリウムがあり、事前説明、最終発表等、プレゼンはプラネタリウム内にて行います。ご興味がある方は是非ご参加下さい。

昨年の様子（東京会場）

photo by Akiko Yanagawa, Space Apps Challenge Tokyo

Input Day（2017年4月9日株式会社Yahoo!「LODGE」）



イベント概要や宇宙データについての説明でスタート。



イメージを膨らませます。



photo by Akiko Yanagawa, ISAC Tokyo Bureau, CC BY.

各自のアイデアを交換し、ハッカソンに向けた最終的なアイデアに仕上げます。

ハッカソン（2018年4月29-30日 Startup Hub Tokyo, 東京都千代田区丸の内2-1-1 明治安田生命ビル TOKYO創業ステーション）



photo by Akiko Yanagawa, ISAC Tokyo Bureau, CC BY.

開発の様子



photo by Akiko Yanagawa, ISAC Tokyo Bureau, CC BY.

チーム毎に島を作り開発・制作作業を進めます。



photo by Akiko Yanagawa, ISAC Tokyo Bureau, CC BY.

国内他会場とつなぎ、お互いの進行を確認しながら交流を図ります。



最後に成果報告会を行い、各チームの成果物を発表し合うとともに審査によりGlobal Competition 進出チームが決まります。



touch & tryの時間-実際に作品に触れて体験します。



終了後は懇親会で、参加者同士で2日間の活動を労い讃え合います。

。



東京では約80名の参加がありました。

関連資料

NASA Space Apps Challenge グローバルサイト(2018年版)

<https://2018.spaceappschallenge.org>

Space Apps Japan ブログ

<http://blog.spaceapps.jp/>

Flickr - International Space Apps Challenge Tokyo

<https://www.flickr.com/photos/95162897@N08/>